



# 実効ある避難計画を

## 原発エネ連が県と意見交換会

島根原発での事故に備えた県の広域避難計画について、「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」は22日、松江市で県の担当者との意見交換会を開きました。(写真)

30人が参加し、避難ルートや避難体制などへの質問が相次ぎました。保母武彦事務局長の「事故時の風向きによって放射性物質の拡散方向が変わるが、その際の避難先はどうなるのか」「避難計画を了承する責任はどこにあるのか」との質問に、島田範明防災部長は「現在の計画を基本形にしながら、避難先も状況に応じて柔軟に対応する」「計画は国の原子力防災会議で承認する仕組み



県庁前で13日、今年最初の原発反対行動が行われました。

「原発ゼロ・金曜日行動 今年初 パレードでコール響く」

この冬一番の寒さの中、16人が参加。197回目の行動です。4人がトークし、市内の女性は「この行動に参加することで、原発ゼロを諦めないことを示し続けたい」と訴え。「原発ゼロだ」「再稼働反対」とコールし、中国電力島根支社までパレードしました。



替え歌で元気良くスタート

みとなっている」と答えました。

参加者からは「新潟県は、原発事故が健康や生活に及ぼす影響、安全な要望が出されました。」

避難方法などを独自に検証している。県民の命と安全を守るため、島根県も独自で検証を」などの

# 地域の話題

## 高齢者施策推進を 奥出雲 川西議員が質問

日本共産党の川西明徳議員は、昨年の12月町議会で高齢者の生活実態を検証し、介護・福祉施策を構築するよう町長に求めました。

川西議員が「介護や医療は町にとって重要な産業。住民本位の地域包括ケアをめざすべきだ」と質問したのに対し、勝田町長は「介護ニーズ、地域資源は調査中。介護予防サービスは現行のサービスを継続する。高齢者のくらしを支援し、質の向上に取り組む」と答弁しました。

江角健康福祉課長は

## 多様なニーズに対応した高齢者施策を推進する」と答えました。

## 奥出雲町民報「より」 学校施設耐震化を 井原議員が要求

井原議員「昨年10月21日、鳥取県中部で最大震度6弱の地震が発生した。学校施設は児童・生徒の場であるとともに、非常災害時の避難場所指定されており、耐震化推進は喫緊の課題。耐震化の状況、保護者から不安の声が上がっている出東幼稚園の改築予定について伺う。」

教育部長「2016年4月現在の耐震化率は小学校88.9%、中

学校88.1%、幼稚園89.3%、保育所50.0%。出東幼稚園は2013年の老朽度調査の結果、国の危険改築事業の対象となることが確認されたため、改築工事の対象にし、計画を前倒しして取り組む。(井原ゆうの議会報告より)

## 南 大和議員が質問

大和議員「町長は公約に「共生社会の実現」を掲げている。LGBT(性的少数者)の人権保障についても積極的に取り組むべき。日本でのLGBTの割合は人口の7.6%で13人に1人となる。本町では数字上840人が該当者となる。学校教育で、子どもたちはこの問題をどう学

びているのか。課長「文科省より同性障害の児童生徒に対して、きめ細やかな対応を取るよう通知が来ている。学級活動や道徳の時間を活用して学習したり、教職員には年1回以上の研修を実施し、自分の心や体の性に違和感をもつ子どもに対応できるように整えつつある。(まみちやんニュースより)」

**自治研通常総会・記念講演**

日時 2月4日(土) 13:30~

会場 島根県民会館308

「しまねの地域課題と再生への展望」

講師 関耕平氏 島根大法文学部准教授

参加費 無料

「原発問題でも現地に行つてますよね。」

島根の地方議員の皆さんが島根原発の安全性に関して深い調査をしています。その勉強も含め、現地を見ました。また、上関原発計画では、祝島に行つて住民運動の方とお会いしたり、原発立地予定地の現場にも行きました。

再稼働も新規稼働もストップさせるため、多くの方々との共同を広げていこうと思っています。

「昨年11月21日の岩国問題の質問もタイムリーで反響を呼びました。中国地方では、極東最大の基地に強化されようとしている米軍岩国基地問題、美保基地への空中給油機配備問題など、戦争法のもとで戦争する国づくり態勢が進行しています。岩国へのステルス戦闘機F35Bの配備問題では、昨年11月20日の岩国市民集會に参加しました。その熱気に満ちた思いを翌日の決算行政監視委員会ですっそく稲田防衛大臣につけました。」

**稲田防衛大臣に追及する大平氏**

# 衆院議員2年を振り返って(下)

## ~大平よしのぶ議員に聞く~

住民運動と国会質問が響き合う…。中国地方の共産党議員がいるからだと確信を持つことができた。そして、多くの市民団体との共同が広がり、その輪の中にしつかりと共産党の国会議員がいる。その役割の重要さを痛感しています。

「昨年の戦争法の共同のスクラムの中に、大平議員が共産党の国会議員として頑張っていたこと、中国地方の共産党議員が共産党の国会議員として頑張っていたこと、昨年参院選での市民と野党の共同でも大平議員の存在が光っていました。ありがとうございます。」

市民と野党の共同の前進には、共産党の国会議員が増えたことが力になってきているのは確かです。中国地方でその役割を果たしていきたくと思っています。

「さて、最後になります。『議員2年』を踏まえ、今後の抱負を一言。」

引き続き、中国地方の声をまっすぐ国会に届ける議員として頑張っていこうと思っています。

総選挙の時期は、任期の折り返しを迎えて「いつあってもおかしくない情勢」ですので、必ず議席を確保し、さらに前進するために全力を挙げる決意です。

1月の日本共産党大会に向けて「共産党をもっと大きくしよう」と「大運動」に取り組んでいますが、多くの方に共産党の役割を語り、党に入っていたく運動の先頭に立って頑張ろうと決意しています。

党大会議案の中で「党創立100周年」の話が出てきますが、議員になって2年間、各地を回りながら中国地方に流れる先輩たちの革命的な伝統に学ばされています。

先日、岡山県北に向いた際、「党創立時代の片山潜の碑」「戦後すぐに当選した日本共産党衆院議員・荻田アサノさんの生家」「人間裁判・朝日茂さんのお墓」を訪ねました。

この伝統を引き継ぎ、100周年を党躍進の中で迎える決意を新たにしたいです。私は100周年の年はまだ40代なので次の時代に向けても…ですが、どうかご支援よろしくお願ひします。(終り)